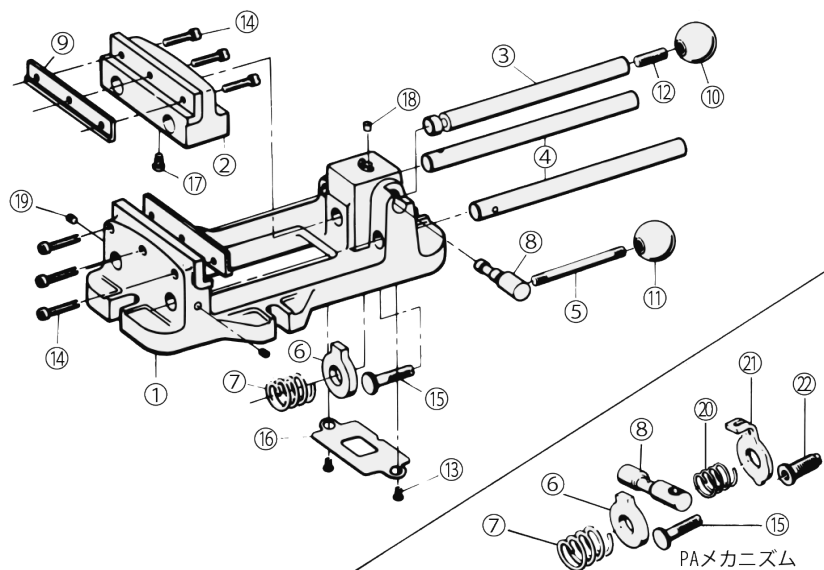


クランプマスターバイス アジャストボルトの調整方法

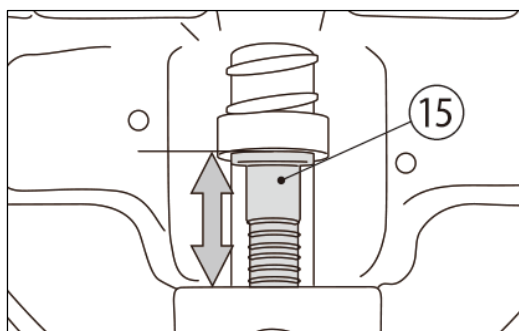
分解・組立図



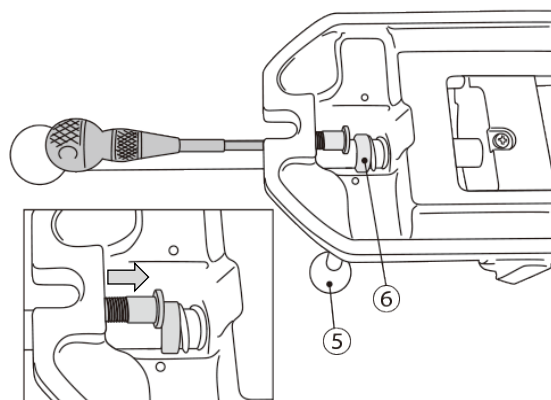
No.	部品名称	No.	部品名称	No.	部品名称
1	ボディー	8	クランク	15	アジャストボルト
2	スライドジョー	9	口金	16	止メ板
3	センターバー	10	ニギリ玉(黒)	17	センターバー止メネジ
4	ガイドバー	11	ニギリ玉(赤)(青)	18	玉入れオイルカップ
5	ハンドル	12	スタッド	19	ガイドバー用止メネジ
6	ロックリング	13	止メ板用止メビス		
7	スプリング	14	口金止メビス		

※本資料はお客様にて分解・組立をされる際に、スライドジョー(②)、センターバー(③)を可動させるために必要なアジャストボルト(⑮)の調整方法を記しています。

1. 怪我に十分注意して分解・清掃・組立を行ってください。分解、部品交換前にあらかじめ既存のアジャストボルト(⑮)の長さを測っておくと調整の目安になります。

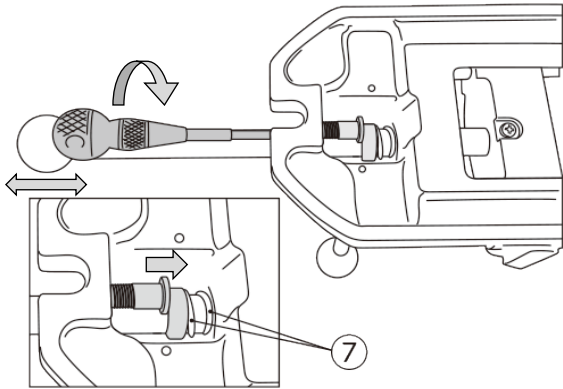


2. 最初にアジャストボルトがロックリング(⑥)にあたる位置までボルトを回します。
※この時ハンドル(⑤)はアンクランプの位置になります。



クランプマスターバイス アジャストボルトの調整方法

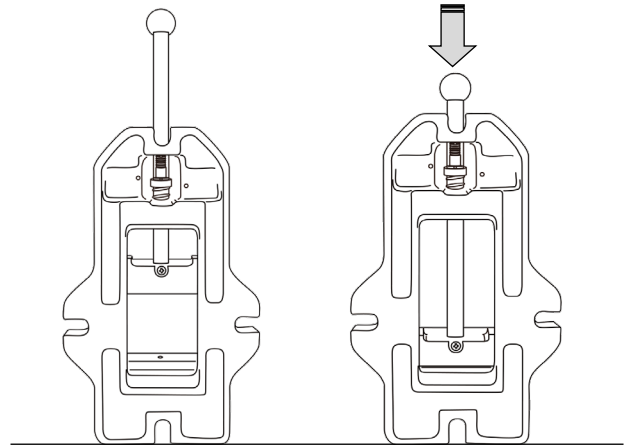
3. 続いてアジャストボルトを時計回りで少しずつ回しながら、スライドジョーが動く位置まで調整します。(スプリング(7)が縮み、ロックリングが奥に移動するのが確認できます。)時折、センターバーを動かしながらスライドするまでアジャストボルトを回し続けます。



・目安として・

バイスを90度に立てた状態でスライドジョーがスムーズに落下したら適正な調整範囲になります。

⚠ 指の挟みにご注意ください。



4. スライドジョーのスライドが確認出来たらワークを挟み、クランプ作業を行います。この時にクランプ力が弱いと感じた場合、スライドジョーが可動する範囲で、再度アジャストボルトを時計回りに回します。調整終了後、止め板(16)をはめて終了してください。

